

平成25年行政事業レビューシート

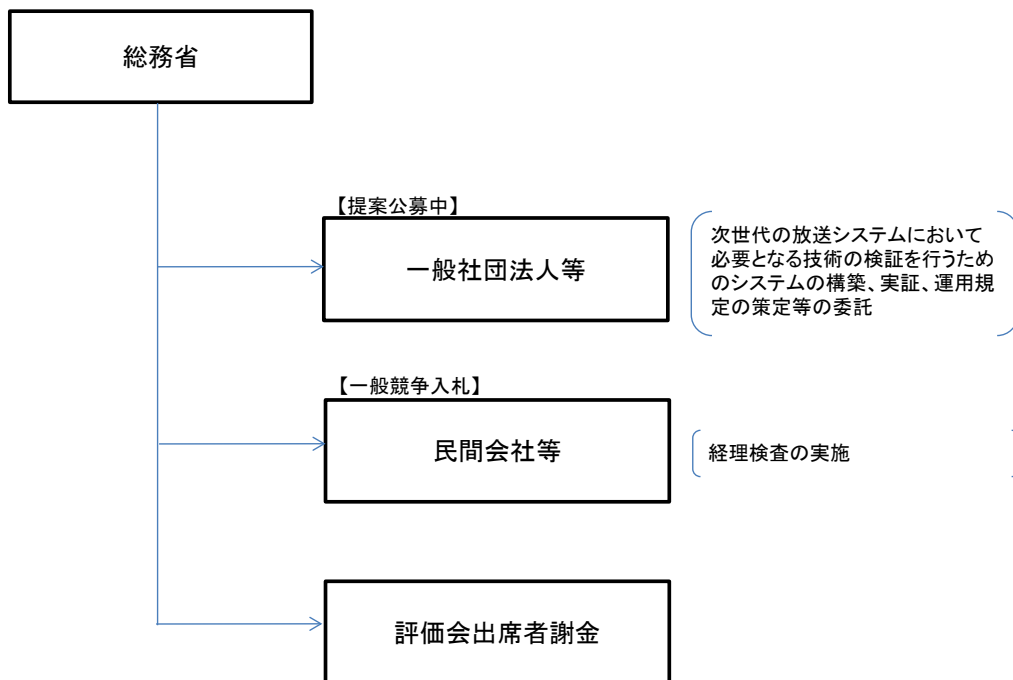
(総務省)

事業名	次世代衛星放送テストベッド事業		担当部局庁	情報流通行政局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度開始 平成25年度終了予定		担当課室	衛星・地域放送課	課長 鈴木 信也		
会計区分	一般会計		政策・施策名	V-2 情報通信技術高度利活用の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第66号		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	放送の完全デジタル化等により急速な進展が見込まれる、4K・8K(スーパーハイビジョン)やスマートテレビ等の次世代放送サービスについて、効率的な圧縮・伝送技術などの実証を通じ、これらの技術に関する仕様等の策定を促進する。これにより、サービスの実用化を加速し、諸外国に先駆けて、サービスを実現。世界最先端のインフラと技術によって、世界の市場を牽引する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本事業においては、次世代放送に必要な圧縮(符号化)・伸長機能、多重化機能や制作システム等の仕様等を検討するとともに、技術検証を可能とする環境を整備する。 また、これらの実証環境を活用し、4K・8Kやスマートテレビ等の放送に適した圧縮・伝送技術等に関する統合的な技術的検証を行い、運用規定等を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	-	-	3,069	0	
		繰越し等	-	-	-3,069	3,069	
		計	-	-	0	3,069	0
	執行額	-	-	0			
	執行率(%)	-	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	諸外国に先駆けて、4K・8Kやスマートテレビ等の次世代の放送サービスを実現。世界最先端のインフラを構築し、対応端末市場における国内需要を回復するとともに、グローバルシェア首位を実現。具体的な定量的指標を示すことは困難。	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	次世代衛星放送テストベッドを活用し、次世代放送に係る技術の実証等を実施し、仕様等の策定を促進することで、サービス実用化を加速化させる。	活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
				-	-	-	()
単位当たりコスト	-		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
		0	0	平成24年度で事業終了(平成24年度予算を平成25年度に繰越)			
	計	0	0				

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	諸外国に先駆けて、4K・8Kやスマートテレビ等の次世代の放送サービスを実現。世界最先端のインフラを構築し、対応端末市場における国内需要を回復し、グローバル市場を牽引することを目的としており、優先度が高く、国による強力な支援が必要である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	委託先の選定に当たっては、一般公募ののち、外部評価委員会により選定する予定としており、競争性、妥当性を確保している。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	—				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—					
事業性の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—				
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名	
点検結果	当該事業は、次世代放送サービスの対応端末市場における国内需要を回復し、グローバル市場を牽引することを目的としており、優先度が高く、国による強力な支援が必要。委託先の選定に当たっては、一般公募ののち、外部評価委員会により選定する予定としており、競争性、妥当性を確保している。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	平成25年度をもって事業終了					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	初期の目標を達成する見込みであり、平成25年度をもって事業終了。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

○一般社団法人等に対する委託費については、平成25年3月公募を開始。5月中に外部評価を実施して、委託先を選定し、同年6月頃までに契約締結予定。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					